

### 所得税および復興特別所得税の

# 確定申告書は自分で作成しお早めに提出を

問合せ先

十勝池田税務署 ☎ 574・2171

## 所得税および復興特別所得税の確定申告

所得税および復興特別所得税の確定申告は、毎年1月1日から12月31日までの1年間に生じた全ての所得の金額とそれに対する所得税等の額を計算し、申告期限までに確定申告書を提出して、源泉徴収された税金や予定納税で納めた税金などとの過不足を精算する手続きです。令和4年分の確定申告書の受付は、令和5年2月16日(木)から同年3月15日(水)までです。ただし、還付申告書は、令和5年2月15日(水)以前でも提出できます。

なお、税務署の確定申告相談会場には例年多数の方が訪れており、会場内の混雑緩和のため、会場への入場には「入場整理券」が必要です。詳しくは国税庁ホームページで詳細をご確認ください。また、税務署の閉庁日(土・日曜・祝日等)は、通常、税務署での相談および申告書の受付を行っていませんが、一部の税務署では2月19日(日)と2月26日(日)に限り、確定申告の相談および申告書の受付を行います。

## パソコンやスマートフォンでの申告のお願い!

ご自宅からパソコンやスマートフォンで申告書の作成をお願いします。作成した申告書は①マイナンバーカードと、②マイナンバーカード読取対応のスマートフォンまたはICカードリーダーライターを用意すれば「e-Tax」を利用して提出できます。なお、事前に税務署で手続きしていただければ、①、②をお持ちでない方でもe-Taxをご利用できます。詳しくは国税庁ホームページ「確定申告特集」(<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/shinkoku/tokushu/index.htm>)をご確認ください。

## 国税の納付はキャッシュレス納付が便利です!

所得税および復興特別所得税の納期限は、令和5年3月15日(水)です。以下のいずれかの方法で納付してください。詳しくは、国税庁ホームページ「確定申告特集」の「税金の納付や還付手続きについて」(<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/shinkoku/tokushu/tetsuduki.htm>)をご確認ください。

|                              |   |
|------------------------------|---|
| 振替納税                         | 振替日(令和5年4月24日(月))に指定の金融機関の預貯金口座から自動的に引き落とされます。事前に預貯金残高をご確認ください。<br>※振替納税をお申込みの場合は、「預貯金口座振替依頼書兼納付書送付依頼書」を令和5年3月15日(水)までに提出してください。なお「預貯金口座振替依頼書兼納付書送付依頼書」はe-Taxでも提出できます。<br>※振替納税を利用中の方が転居等により所轄税務署が変わった際に、引き続き振替納税を希望される場合は、異動後も継続して振替納税を行う旨を記載した確定申告書または「納税地の異動又は変更に関する申出書」の提出が必要となります。 |
| ダイレクト納税<br>(e-Taxによる口座振替)    | 事前に税務署へe-Taxの利用開始手続きを行ったうえ、税務署または利用される金融機関に専用の届出書を提出していただくことで、納税者ご自身名義の預貯金口座から即時または指定した期日に口座引落しにより納付できます。   |
| インターネットバンキング等                | 納付情報を登録することで、インターネットバンキングやATMなどで納付できます。   |
| クレジットカード納付                   | スマートフォンやご自宅等のパソコンなどで、専用のWebサイトから納付できます。   |
| スマホアプリ納付                     | 令和4年12月から、決済専用Webサイト(スマートフォン専用)において、スマホアプリ決済(〇〇Pay等)を利用して納付ができます。   |
| QRコードによる<br>コンビニエンス<br>ストア納付 | ご自宅などで、国税庁ホームページで提供する作成システム等から納付に必要な情報をQRコードとして作成(印刷)し、コンビニエンスストアで納付できます。<br>※納付できる金額は30万円以下となります。※QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。  |
| 窓口納付                         | 現金に納付書を添えて、納期限までに金融機関(歳入代理店)または所轄税務署で納付できます。  |

## 還付される税金がある場合の受取方法

還付金の受取に振込みを希望する場合は、確定申告書の「還付される税金の受取場所」欄に、振込先金融機関名、預金の種類および口座番号(ゆうちょ銀行の貯金口座の場合は、記号番号のみ)を正確に記載してください。なお、振込先の預貯金口座は、申告者ご本人名義のもの(氏名のみ)の口座)をご利用ください。

豊頃町「報徳のおしえ」推進会議「ひろめよう!報徳の町に四つの心」

# 『報徳のおしえ』ととともに

令和3年度「報徳のおしえ」講演会《中桐万里子氏講演》

## 講演テーマ「報徳」からはじまる豊かな未来創造(その10)



問合せ先

教育委員会社会教育係 ☎ 579・5801

【金次郎の救った村は600ヶ村では  
ありませんでした。】(前号からの続き)  
金次郎という人間にも、24時間  
365日しかないわけです。たった一  
人で600という村々を復興するとい  
うことは、できるはずがありません。  
現実にはチームでした。多くの仲間  
がいました。そしてなにより重要だっ  
たのは、それぞれの村の人たちの力  
だった。村の人たちが立ち上がった。  
それぞれの村を豊かにしていった。そ  
のことがあったからこそ、600ヶ村  
という驚きの数字になっていった。

金次郎自身は、「自分が関わったこ  
とを忘れてくれるのが一番の成功の形  
だろう。村は村で蘇ったのだ。自分た  
ちの力でやれたのだ。その誇りを持っ  
ていくことが、村々の再建・復活の大  
成功の形だ」と、そんなふうに向うわ  
けです。

繰り返しになりますが、相手を決し  
て助けない。相手を受け手に閉じ込め  
ておくような小さな発想をやめて、一  
人一人が主人公で力を持っている。そ  
のことへ敬意を持つことが、全てのほ  
じまりになっていく。そのことが金次  
郎にとって、とても大切なことでした。  
そこで重要なこと、それは何といっ

ても「人間一人一人には、どんな人にも  
生み出す力がある。創造し生産する  
力がある」そのことがとても大切なこ  
とだというふうに考えていました。そ  
ういう人間観というものがあった。そ  
う例えば、それが象徴的に語られてい  
る事例があります。  
それは村おこしをする時にたくさん  
の病気がなった人たち、年若い働く  
ことができなくなった人たち、あるい  
はまだ役に立たない子どもたちの扱  
い、そんな人の扱いにこの思いがあふ  
れているというのです。

今でいえば、村おこしに役に立たな  
い社会的弱者。さすがに、この人たち  
を助けてやらないと、救済してあげな  
いと、と考えるのがもしかしたら一般  
的な親切かもしれませぬ。でも金次郎  
はそうは考えませんでした。彼はそう  
いう人たちを集めて言ったのです。  
「あなたたちは直接労働することがで  
きない。なので、分配する配給のお米  
を少なくします。だって働けないので  
すからしょうがないですよ。少なく  
するけど信じてください。絶対に殺す  
ようなことはしません。最低限のお米  
をあげます。死なない程度のお米は必  
ずあげる。殺すことはしない。だから、  
しょうがないので、それで我慢して欲

しい」と、なんと弱者に冷たい。なん  
と酷い人かと。そんなふうと思うよう  
な仕組みです。でも彼は言うのです。  
「だからあなたたちは、これから死ぬ  
ような苦しみや空腹に苦しまなければ  
ならないかもしれない。本当にお腹が  
すくと思う。でも、その空腹に耐える  
忍耐を仕事だと思つてほしい。村に貢  
献する仕事だと思つてほしい。あなた  
たちが、そうやって懸命に耐えるその  
力を借りて、あなたたちの分の食料を  
働ける若い者に渡していく。そして人  
の倍のお米を食べながら、その若者た  
ちは2倍働いていく。あなたたちから  
の励まし、あなたたちからの応援を受  
けながら、その若者たちは懸命に働く  
から、若者たちと気持ちを一つにして  
やって欲しい。それぞれの力を若者た  
ちに与え合つて欲しい。そうやって、  
この村が村として立ち上がることに協  
力してくれないだろうか」というふう  
に、その人たち(社会的弱者)に呼び  
掛けていくのです。

働くことができないからと言って、  
弱者として助けるわけではありません  
ん。その人たち自身には、生み出せる  
ものがある。その人たち自身にしか生  
み出せないものがある。一人一人は必  
ず生み出す力を持っている。必ずでき

ることがある。必ず貢献できることが  
ある。その立場や役割を持っている。  
それは金次郎が考えていた村おこしの  
やり方でした。  
こうして、一人一人が自分の力を余  
すところなく使うことにより、村が村  
となり、一人一人が主役となって立ち  
上がっていく村おこし。そんなことが  
可能になっていくのだと言うわけだ  
す。確かに空腹に耐えると言われた  
瞬間「え」と思った多くの人たちが、  
金次郎の話聞いて「だったらもつと  
我慢ができる」と言つてさらに献上し  
はじめる。そんなことが生まれたそう  
です。

